

こまき検定 問題一覧と解説文

次の60問の中から、検定当日30問を出題します。 内の解説文を
しっかり読んで、学習をしましょう。

- 1 国道155号の上末交差点付近に、上末城の跡があります。上末城を築いた武
将の子孫は小牧原新田に移り、入鹿六人衆の1人として、入鹿池を造るのに力
をつくしました。この人物はだれでしょう。

上末城は、落合勝正によって、文明年間(1469~86)に造られました。
勝正の子孫である落合新八郎は、入鹿六人衆の1人として入鹿池を造るのに力
をつくし、その後小牧原新田に移り新田開発に努めました。

- 2 「北里」という地名の「北」は、元は西春日井郡の北に位置する村ということ
でつけられたといわれています。では、「里」の由来は何でしょう。

北里の特産物の「えびいも」というさといもからきています。「えびいも」は、
えびのように曲がった形の高級なさといもです。つまり元西春日井郡の「北」
にある「さと」いもが特産の村ということになります。

- 3 城の石垣を造るため、岩崎山からもたくさんの石が切り出されました。これ
らの石を利用して徳川家康の命令でつくられたのは、何城でしょう。

名古屋城の石垣を築くために、岩崎山からもたくさんの石が切り出されま
した。そのとき、どこの大名が切り出した石なのかを区別するために、刻紋
という目印を付けました。今でも、岩崎山のあちこちにある石には、刻紋や石を割
るためにくさびを打ち込んだ跡が見られます。
※くさび・細くとがった部分をすきまにさし込んで上から叩き、物を割ったり
する時などに使う、かたい木材や金属で作られた道具。

- 4 小牧市街地と桃花台ニュータウンを結ぶ新交通システムが開通し、平成18年(2006)まで列車が走っていました。この路線の愛称は、何だったでしょう。

新交通システム(愛称:ピーチライナー)は、駅員を小牧駅と桃花台センター駅の2駅のみにおき、残りの5駅は無人駅でした。すべての駅にホームドアが設置され、転落を防止していました。桃花台ニュータウンの人口が予想していたほど増えなかったなどの理由から赤字が続き、廃線となりました。

- 5 池之内の大泉寺には海部莊平という人の墓があります。この海部莊平が明治のはじめにつくりあげた、全国的に有名な食べ物の品種は何でしょう。

明治のはじめ、池林村で元尾張藩士の海部莊平と弟の正秀が、中国から手に入れたバフコーチンと岐阜地鶏を交配して産まれた鶏からつくりあげたのが名古屋コーチンです。肉質がよく、今では日本を代表する鶏の品種となりました。

- 6 大正13年(1924)、小牧に旧制中学校が開校しました。学校名は何でしょう。
※旧制中学校・・現在の高等学校。

大正11年(1922)の愛知県議会で、名古屋付近に県立中学校を1校造ることが決定されました。小牧町は誘致運動を進め、県立小牧中学校(現在の小牧高等学校)が開校しました。なお、戦時中、現在も残っている講堂で徴兵検査が行われたこともあるそうです。

- 7 小木地区にある宇都宮神社にまつられている神様は、何でしょう。

宇都宮神社は、「1504年に織田宰相が越前国から移住の時に、下野の国宇都宮を遷して氏神とあおいだ」と伝えられています。まつられている神様は、大名持神、天照皇大神、少彦名神です。

- 8 小木古墳群の一つである宇都宮神社古墳からは、県指定の有形文化財の銅で作られた〇〇が見つかりました。それは何でしょう。

宇都宮神社古墳から見つかったのは、直径21.8cmで文様もはっきりしている銅鏡（三角縁獣文帯三神三獣鏡）です。この銅鏡と同じ型から作られた鏡が佐賀県谷口古墳、岐阜県長塚古墳からも出土しています。また、近くの甲屋敷古墳からも銅鏡が見つかりました。宇都宮神社境内の説明板に銅鏡のわかりやすい写真が掲示されています。

- 9 小木古墳群の中で一番大きい宇都宮神社古墳の形は、どんな形でしょう。

宇都宮神社の場所にあり、県指定史跡になっています。現存する規模は、全長59m、後方部一辺34m、高さ6.5mの前方後円(方)墳で、小木古墳群の中で一番大きな古墳です。小木古墳群は、3世紀末から4世紀に造られた古墳と考えられ、尾張北部では、犬山市の東の宮古墳の次に造られた古墳群で、4世紀には小木周辺が有力な豪族に支配された地域であったことがわかります。

- 10 平安時代に小牧市北東部の標高200mほどの山中にあった、「西の比叡山延暦寺、東の〇〇寺」といわれるほど大きなお寺だったのは何寺でしょう。

大山寺は、「西の比叡山延暦寺、東の大山寺」といわれるほど大きな寺でしたが、比叡山延暦寺系のお寺だったため、1152年に比叡山延暦寺と三井寺との間に起きた争いの中で、三井寺の僧によって焼き討ちにあい、建物はあとかたもなく焼きつくされたと言われていました。その跡である大山廃寺跡は、国の史跡に指定されています。また、出土した瓦や陶器などは、小牧市歴史館に展示されています。

- 11 久保一色の庚申寺には、狛犬ではなく、ある動物の像が本堂前に置かれています。この動物は何でしょう。

庚申信仰とは、江戸時代に各地に広まった信仰です。農業の神・泥棒除けなどの神として人々の信仰を集めました。本堂の前には、狛犬ではなく、三つの猿の像（見ざる・言わざる・聞かざる）が置かれています。

- 1 2 ^{かみずえ きふね けいだい}上末の貴船神社境内にまつられていて、市の天然記念物に指定されている、
^{じゅれいすいてい きよぼく}樹齢推定300年の巨木といえど何でしょう。

^{きふね おわりちいき みきまわ}貴船神社のアベマキは尾張地域の中で最も大きなもので、高さ約25m、幹周
り約4.6mにもなります。県内で2番目に太いアベマキです。平成22年(2010)に市
の天然記念物に指定されています。

- 1 3 ^{だいえんしゅう てんのう とうかん}昭和2年(1927)、陸軍による小牧山周辺での大演習を昭和天皇が統監さ
れました。この時、小牧山東側^{つく}に造られた橋を何というのでしょうか。
※統監・・全体をまとめて指揮^{しき}すること。

^{てんのう えんしゅう いわさき えんしゅうじょう じゅんし}昭和天皇が、演習の中心であった岩崎山から演習場を巡視し、
^{きゅうせい へ あいせがわ わた つく}旧制小牧中学校を経て小牧山へ馬を進める時に合瀬川を渡るために造られた
^{みゆきばし}橋を御幸橋といいます。昭和2年(1927)当時のお金で1,800円(現在の価値で
約120万円)をかけて造られました。御幸橋は、小牧中学校が現在の位置に建てら
れる前、小牧山の中(現在の史跡公園のあたり)に建っていた時の東門の位置に
^{しせき}あり、小牧山城^{じょう こぐち}の虎口の一つにつながっています。後に改築されて鉄骨コ
ンクリート製^{せい}になり、多くの小牧中学校の生徒が通学に利用しました。
※虎口・・城の出入口。

- 1 4 ^{みつやまこふんぐん}東田中にある三ツ山古墳群は、古墳時代のものですが、古墳の形はどんな形
でしょう。

^{みつやまこふんぐん ほうふん こうせい}三ツ山古墳群は、3つの方墳で構成されていました。しかし、昭和54年(1
979)に国道をひろげる工事によって北側の2つの古墳は無くなりました。現在
はそのうち3号墳のみが残っており、三ツ山公園横の小山として残っています。
また、小牧・長久手の戦いの時、ここに^{ながくて とりで}砦がつくられました。

- 1 5 ^{みつやま はちまんしゃ ちゅうだん}東田中(三ツ山)会館の横にある八幡社では、一時中斷された時期があ
りましたが、戦前から続いている行事があります。この行事で行われている^{きょうぎ}競技
は、何でしょう。

昔は小山(古墳)が三つあり、それぞれの頂上^{ちやうじやう}に大分県にある有名な神社
がまつられていました。現在行われているこども相撲は、昭和20年ごろまで行
われていた^{よ ずもう}寄り相撲をこれからもずっと伝えるため、形を変えて復活させたも
のです。

16 常普請じょうぶしにある本光寺ほんこうじには、ある有名な人物ほが彫ったといわれている木像もくぞうがまつられています。その人物とはだれでしょう。

西行法師さいぎょうほうし(1118～1190年)は、武士ぶしでしたが、23歳さいの時、出家していろいろな地域ちいきをまわる旅に出て、多くの和歌を残した人です。春日寺かすがんじの住職じゅうしよくだった伯父おじを尋ね、その近くの小さな家に住んでいたと言われていました。その跡あとに西行堂さいぎやうどうが建てられましたが、大山川はんらんの氾濫で流されてしまいました。そこにあった西行が彫ったという木像もくぞうも失われました。あとで木像が下流から発見され、本光寺本堂ほんこうじほんどうにまつられました。

17 味岡地区あじおかには小松寺こまつじという寺があります。この名前の由来となった小松殿どのと呼ばれた人は、どの一族の人でしょう。

承安3年しょうあん(1173)、平清盛たいらのきよもりを父とする小松内大臣こまつないだいじんの平重盛しげもりが、寺を直して、寺に土地きしんを寄進こまつじしたことから小松寺と名付けられたといわれています。また、味岡庄あじおかしょうとよばれたその土地はその後2つに分かれ、味岡新庄あじおかしんじやうと味岡本庄あじおかしやうとなりました。これが、現在の本庄げんざいほんじやうという地名のもとになっています。

18 昭和30年(1955)1月に市制しせいが施行せこうしました。この時、3町村がっぺいが合併して小牧市となり、県下21番目の市が誕生たんじやうしました。小牧町・味岡村あじおかと共に合併した村はどこでしょう。

昭和28年(1953)から町村合併がっぺいの声が高まり、小牧町・味岡村・北里村あじおかの3町村が話し合いを進めました。その後、北里村が合併を見送ったものの、篠岡村しのおかが加わって小牧市が誕生たんじやうしました。10年後の昭和38年(1963)には北里村の一部が小牧市に合併し、現在の小牧市となりました。

19 北里地区おぼりの小針おわりは、尾張おわりという名前が始まった場所と言しゅうらくい伝えられています。何時代ごろから小針に集落しゅうらくができあがったと考えられていますか。

小針おぼりには豪族ごうぞくの尾張氏おわりが古墳時代こふんに集落しゅうらくを作ったと言われており、尾張神社周辺からは古代との関わりを示す須恵器すえきなどの土器どきのかけらが見つかります。また、小針は後に「尾張国おわりのくに」の名前の由来になったと伝えられています。

20 「小針」という地名は、「尾張」の語源になっています。「はり」（針・張）が表す意味は何でしょう。

開墾した田畑を「はりた」といい、墾田・治田・針田・張田などを書きました。「はり」には、「開墾」という意味がありました。小針はかつて「小治田の里」と呼ばれ、古代豪族尾張氏の祖先をまつた尾張神社があります。参道入口には「尾張名称発源地」の碑が建てられています。このことから、この辺りは尾張氏によって開拓された土地で、古代から集落が存在した地域であることが分かります。

※開墾・・・新しく土地をひらくこと。

21 北里村の一部の地域が加わって、現在の小牧市になったのはいつでしょう。

昭和30年（1955）に県内21番目の市として小牧市が誕生した時には、北里村は合併しませんでした。しかし、小牧インターチェンジへつながる国道41号の建設が進み、周辺の都市化についていけないという声が高まったことから、昭和38年（1963）に北里村の一部が加わり、現在の小牧市となりました。

22 明治時代から昭和にかけて、久保一色の陶芸家である仙田市兵衛・佐太郎親子が農業のかたわら、作った焼き物は何と呼ばれているでしょう。

恵比寿や武将像や兵隊など、土でできた雛人形が作られました。焼き上がった素焼きの雛に和紙をはり、真っ白に塗った後に色づけし、ニスを塗って仕上げたものを土雛といい、近郊の農家だけでなく、犬山などの尾張北部でも販売されていました。

23 北里小学校は、かつて2つの小学校を統合して北里尋常小学校としてつくられました。いつでしょう。

明治41年（1906）2月に北里第一尋常小学校（元 小木尋常小学校）と北里第二尋常小学校（元 尾張尋常小学校）が統合され、北里尋常小学校がつけられました。そして同年3月に高等科も置いて、北里尋常高等小学校と呼ぶようになりました。

※尋常小学校、尋常高等小学校・・・明治～第2次世界大戦がはじまる前まであった学校制度。

現在の小学校1年生～中学校2年生にあたる。

2 4 味岡駅の西側、新木津用水のとなりに清流亭というお店がありました。ここには県の天然記念物に指定されている植物があり、昔から人々の目を楽しませてきました。この植物は何でしょう。

清流亭は、県道名古屋犬山線と新木津用水が交わる筋違橋の横にあった料理屋です。江戸時代にはじまった休憩所で、当時はういろを売っていたと伝えられています。花の房が2 mにもなる樹齢約400年の藤は、昭和36年(1961)に県の天然記念物に指定されました。

2 5 小牧にはキツネの伝説が多く残っています。その一つに、小牧山に住んでいたあるキツネの伝説があります。そのキツネの名前は何でしょう。

小牧山に、吉五郎というキツネが住んでいました。子分は200匹もいて、この地方のキツネの親分でした。この吉五郎の伝説は、江戸時代につくられて広まりました。津田応助が、この話を『伝説老孤小牧山吉五郎』という本にまとめて、現在に伝わっています。小牧市民まつりのマスコットキャラクター「きっちゃん」は、吉五郎をモデルにしたものです。

2 6 岩崎山の南にある公園（岩崎児童遊園地）は、明治時代に開校された学校の跡地につくられました。その学校の名前は、何でしょう。

岩崎学校は、明治10年(1877)に開校し、岩崎尋常小学校と改名され、明治40年(1907)までこの場所に置かれました。のちに岩崎尋常小学校・味岡尋常小学校・久保一色尋常小学校の3つの学校が合併し、味岡高等尋常小学校となりました。

2 7 平和を望んだ陸軍大將で、昭和11年(1936)に二・二六事件で殺された小牧出身の人はだれでしょう。

渡辺錠太郎(1874～1936年)は、明治33年(1900)に陸軍大学校を卒業し、明治37年(1904)の日露戦争にも参加しています。昭和6年(1931)に陸軍大將となり、昭和10年(1935)には陸軍教育総監となりましたが、二・二六事件で殺されました。次女の渡辺和子さんは、著書『置かれた場所で咲きなさい』が200万部を超えるベストセラーとなるなど有名な人物です。

28 篠岡地区には、小学校5校（陶・桃ヶ丘・篠岡・大城・光ヶ丘）があります。この中で一番新しくできた小学校はどこでしょう。

開校した年は、次のとおりです。篠岡小（明治42年）・桃ヶ丘小（昭和51年）
・陶小（昭和60年）・光ヶ丘小（昭和63年）・大城小（平成2年）。
また、中学校は3校あり、開校した年は、次のとおりです。篠岡中（昭和22年）・桃陵中（昭和57年）・光ヶ丘中（平成2年）。

29 岩崎山にある市指定の有形文化財である切支丹灯笼には、十字架の形に見える部分があります。それはどこでしょう。

現在の位置に移す前は、岩崎山南側にある民家の庭にありました。この灯笼の火袋を支える柱の中央部にふくらみがあり、十字の形となっています。平成2年、岩崎山の観音堂へ移されました。
※火袋・・灯笼の火をともすところ。

30 小牧山の南に城下町をつくったのはだれでしょう。

永禄6年(1563)に織田信長が小牧山に城をつくりました。その際、小牧山南側に城下町をつくったことが、発掘調査の結果からわかりました。

31 野口、林、池内、上末、大草などの篠岡地区には、弘法大師をまつる弘法堂が多く見られます。弘法様の命日である4月21日前後には弘法様のお祭りとしてにぎわいます。では弘法大師と言われた人はだれでしょう。

弘法大師とは、真言宗を開いた僧侶である空海のことです。小牧市内には空海をまつる弘法信仰が古くから受け継がれています。特に篠岡地区は弘法堂が多く見られる地域です。

32 野口にある関無院は、昔、尾張藩主の徳川義直が狩りをしたある動物をとむらうために建てられた寺です。この動物は何でしょう。

尾張藩の初代藩主の徳川義直は、猿投山で狩りをしたとき、家来に猿を弓で射るように命令したそうです。猿のお腹には子どもがいたので、家来は狩りのあと、猿をとむらう小さな家をつくりました。それを聞いた義直が、感激して建てたのが関無院だそうです。

3 3 小牧^{しゆく}宿^{こき}から、小木^{きよす}を通り清洲^{せいしゆ}へつながる道は、清洲道^{せいしゆ}や清洲小牧街道^{せいしゆ}と呼ばれていました。その他には何という名前で呼ばれていたでしょう。

清洲道^{きよす}は、織田^{おだ}信長^{しんちやう}が清須^{きよす}から小牧^{しゆく}へ城^{しろ}を移^{うつ}したときに整備^{せいび}されました。この道^{みち}を通^{とお}って、海部^{あまぐん}郡^{ぐん}方面^{はつぱん}から出^いる灰^{はい}を清須^{きよす}の問屋^{もんや}が売^うり、これを小牧^{しゆく}の農^{のう}民^{みん}が荷^に車^{ぐるま}で買^かいに行^いく時^{とき}に、よく灰^{はい}が道^{みち}にこぼれたので灰取^{はいとり}街道^{かいどう}とも呼ばれました。

3 4 篠岡^{しのおか}地区^{ちく}の県道^{けんどう}荒井^{あらい}大草^{おおくさ}線の大山川^{おおくさ}にかかる橋^{はし}の名前^{なまえ}は「記念橋^{きねんはし}」といいます。この名前^{なまえ}はあるできごと^{できごと}を記念^{きねん}して名付^{なづけ}けられました。そのできごと^{できごと}は何^{なに}でしょう。

記念橋^{きねんはし}は日露^{にろ}戦争^{せんそう}で勝^{かち}ったことを記念^{きねん}して名付^{なづけ}けられました。今は昭和52年(1977)に完成^{ほんじょう}したコンクリート^{こんくりーと}の橋^{はし}ですが、本庄^{ほんじょう}から上流^{じやうりゆう}ではただ一つ^{ひとつ}付け替^かえ前の橋脚^{きやうきゃく}が残^{のこ}っています。

3 5 昭和39年(1964)に廃止^{はいし}された名古屋電気鉄道^{なごやでんきてつどう}(現^{げんざい}在^{ざい}の名鉄^{なめつ})の線路^{せんろ}は、小牧^{しゆく}駅^{えき}とどこの駅^{えき}をむすんでいたでしょう。

名古屋電気鉄道^{なごやでんきてつどう}が、大正3年(1920)に開通^{かいつう}させた線路^{せんろ}は、小牧^{しゆく}駅^{えき}と岩倉^{いんそう}駅^{えき}をむすび、名古屋^{なごや}方面^{はつぱん}とつながつていました。国道41号^{こくどう41ごう}バイパス^{ばいぱす}の建設^{けんせつ}時^{とき}に、交差^{かうさ}の問題^{もんだい}もあり、この線路^{せんろ}は昭和39年(1964)には廃止^{はいし}され、バス路線^{ばすせん}となりました。現^{げんざい}在^{ざい}の小木^{こぎ}バス停^{ばすてい}付近^{ひきん}の道路幅^{どうろはば}が広いのは当時^{たうじ}あつた小木^{こぎ}駅^{えき}のプラットホーム^{ぷらつとほーむ}の名残^{なごり}です。

3 6 大正9年(1920)には岩倉^{いんそう}から小牧^{しゆく}間に鉄道^{てつどう}が開通^{かいつう}し、小木^{こぎ}駅^{えき}がつくられました。その線路^{せんろ}も、昭和39年(1964)にはなくなり、今はバスでつながつています。この鉄道^{てつどう}を作^{つく}つた会社^{かいしゃ}は何^{なに}というでしょう。

小木^{こぎ}地区^{ちく}は大正^{たうし}時代^{じだい}はじめの耕地^{こうち}整理^{せいり}により、蛇行^{だこう}していた三本^{さんぽん}の川^{がわ}(巾下^{はばした}川^{がわ}、矢戸^{やど}川^{がわ}、境^{さかい}川^{がわ})の流れ^{ながれ}が変^かわりまし。大正9年(1920)には岩倉^{いんそう}から小牧^{しゆく}間に名古屋^{なごや}電気鉄道^{でんきてつどう}の線路^{せんろ}が開通^{かいつう}しました。昭和39年(1964)に廃止^{はいし}になり、線路跡地^{せんろあとち}はバス路線^{ばすせん}となりました。小木^{こぎ}小北^{せうほく}西^{せい}の橋^{はし}は道路化^{だうろか}された昭和39年(1964)建設^{けんせつ}の文字^{めいばん}が銘板^{かくにん}で確認^{かくにん}できます。

37 明治時代に、篠岡地区ではのぼり窯で焼き物がつくられていました。その焼き物は何と呼ばれていましたか。

明治時代、篠岡地区で作られていた焼き物が大山焼です。明治5年(1872)ごろから生産が始まり、明治30年代半ばには大量に作られました。明治の終わりごろには作られなくなりました。大山地区で掘られた陶土を使い、のぼり窯で焼かれていました。湯飲み、茶碗、とっくりなどが焼かれ、関西方面へ広く出荷されていました。

38 池之内と本庄の境あたりを流れる大山川に、陣配橋という橋がかけてあります。陣配というのはこの付近の地名で、ある武将が小牧・長久手の戦いの時に陣をおいたことから、そう名付けられたと言われています。この武将はだれでしょう。

陣配の地名は、小牧・長久手の戦いの時、羽柴秀吉がこの場所に陣をおいたことに由来するといわれています。

39 天正12年(1584)、小牧・長久手の戦いで、徳川家康と対峙した羽柴秀吉はどこに拠点を置いたでしょう。

羽柴秀吉は、大坂城、岐阜城、犬山城、楽田城へと軍を進めました。家康が小牧山城に入ると、秀吉は楽田城に入り、互いに相手の様子を見かねたまま持久戦となり、長久手での戦いが起きた後、秀吉と家康は和睦し、小牧・長久手の戦いは終わりました。

40 岩崎山砦は、ある戦いの時につくられました。その戦いとは何でしょう。

岩崎山砦は、小牧・長久手の戦いのとき、秀吉側の陣地として築かれました。稲葉一徹を中心に2,500人の兵を置いたといわれています。ここからは、家康が陣を置いた小牧山が見えます。

- 4 1 入鹿用水いるかようすいは入鹿池こつつようすいからの水を利用しています。では木津用水こつつようすいは、どこから水を取り入れていますか。

木津用水こつつようすい（合瀬川あいせがわ）は、木曾川きそがわが流れる犬山から水を取り入れています。北名古屋市で他の川と合流したあと、名古屋市の北区しんかわで新川しんかわに合流します。同じ犬山から水を取り入れている宮田用水みやたようすい、羽島用水はしまようすいと合わせて濃尾用水のうびようすいと呼ばれています。

- 4 2 小木四丁目にある世尊寺せそんじは、ある寺の跡あととして伝えられています。織田信長おだの家老かろうをとむらうために建てられた寺の名前は何でしょう。

天文22年(1553)、織田信長おだの家老かろう、平手政秀まさひでが信長の行動をあらためさせようとしたが、変わらなかったために自ら命を絶ちました。翌年、信長は政秀をとむらうために小牧山の南、北里村小木せいしゅうじに政秀寺たを建てたといわれています。慶長17年(1612)、政秀寺げんざいは現在いてんの名古屋市中区栄けいちょうに移転しました。その跡地あとちに建てられたのが世尊寺せそんじと伝えられています。

- 4 3 小牧小学校にある「身体健康精神活潑せいしんかつぱつ」の書があります。だれが書いたのでしょうか。

明治30年(1897)ごろに、小牧町の関係者が、小学校のために福沢諭吉ふくざわゆきちに頼たのんで書いてもらったと伝えられています。平成3年(1991)に、市指定の有形文化財ゆうけいぶんとなつています。現在も「身体健康精神活潑せいしんかつぱつ」は小牧小学校の校訓となつています。

- 4 4 篠岡地区では江戸時代から昭和の前半まで、ある地下資源しげんが掘り出されました。その資源しげんは何でしょう。

亜炭あたんは黒や褐色かつしよくの地下資源しげんで、野口・大草・林などの篠岡地区しのおかには10ヶ所以上の亜炭あたんを掘る場所があつたそうです。石炭の中で一番多く不純物ふじゆんぶつを含んでいますが、よく燃えるため江戸時代から第2次世界大戦後まで燃料ねんりようとして使われており、最盛期さいせいきには年間に2万トン以上さいくつも採掘さいくつされていました。昭和の後半からは石油が使われはじめ、亜炭あたんはすべて閉山へいざんとなりました。

4 5 市内で一番高い北東山間部から大山川が流れる大山・野口地区で、6月初旬から中旬にかけて流域で見られるホタルは何ホタルでしょう。

大山川源流近くはホタルの里と呼ばれています。毎年6月上旬から中旬にかけて、ゲンジボタルが飛び交う風景を楽しむことができ、市民の心をいやしています。

4 6 郷中にある龍徳寺の山門は、「閉めずの門」と言われています。名前の由来は、門やとびらを閉めないことからきています。どうして閉めないのでしょうか。

龍徳寺には、「たん十」といういたずら狸の話があります。「たん十」のいたずらに困っていた村人は和尚にその解決を頼みました。和尚が不動尊に祈ると、「天狗を送って懲らしめてやる」とお告げがありました。「たん十」がいたずらをする、と天狗が寺へ現れ「たん十」を懲らしめましたが、毎回、山門を開けてもらうのは、面倒ということで、「門は開けたままがいい」と言ったそうです。それ以来、門は閉めないそうです。
※不動尊・・仏教の信仰対象。不動明王、お不動さんなどとも呼ばれる。

4 7 小牧山にある小牧市歴史館は、城の形をしています。この形のモデルとなった建物は何でしょう。

小牧市歴史館は、名古屋の実業家から寄贈されたものです。豊臣秀吉が京都聚楽第に建て、のちに西本願寺に移された飛雲閣をモデルに昭和43年(1968)に建てられました。

4 8 昭和47年(1972)に小牧市の「市の木」「市の花」が決まりました。「市の木」はタブノキです。では「市の花」は何でしょう。

ツツジは、春から夏にかけて花が咲き、その種類は約1500種あるといわれている、小牧市の「市の花」です。

49 大草にある福厳寺では、毎年12月の第2日曜日に秋葉大祭が行われます。
このとき行われる神事は何と言われているのでしょうか。

540年続く福厳寺の秋葉大祭の神事である火渡りは、毎年12月第2日曜日に
行われています。建物の二階を焦がすほど燃えさかる炎が行者の力で鎮め
られ、両側の火がまだ腰の高さで燃え続ける中、行者らの清めを受けた信者
が次々と火を渡り続ける、迫力ある神事として有名です。燃えさかる火の中
を渡ることによって、心をしずめる大切さを学びます。昔は、行者が素足で火渡
りを行っていたそうです。

50 小牧市のシンボルである小牧山の高さは何mでしょう。

市街地の西側にあり、85.9mの高さがあります。江戸時代、尾張徳川家が
直接治める土地となって開発されずに守られていたため、良好な状態で城の跡
などの遺跡が残っていました。最近の発掘調査で織田信長が築いた3段の石垣
などが発見されました。

51 北里地区には、「小針集団移住記念碑」や「市之久田集団移転碑」
があります。現在、どんな施設がある場所の集落が集団で移動してきた
のでしょうか。

県営名古屋空港は、旧陸軍が昭和17年（1942）に中部地区を守るため建設
を開始し、昭和19年（1944）から使用し始めた「小牧飛行場」が元になっていま
す。昭和33年（1958）アメリカ軍が飛行場を大きくするため、飛行場敷地内や
その周辺の危険区域にあたる集落は集団で移転することになりました。
各石碑は、それを記念して建てられました。

5 2 大草にある大久佐八幡宮の拝殿の壁には、歌人の姿と和歌を描いた絵札がかざられています（現在は4枚欠けています）。はじめは何人の歌人の絵札がかざられていたと考えられるでしょう。

平安時代の和歌の名人である三十六歌仙を描いた絵札がかざられています。江戸時代に、江戸麹町（現在の東京都千代田区）に住む池田屋吉兵衛によって奉納されたものです。当初は36枚であったと思われませんが、4枚（小野小町、藤原敦忠、遍昭、素性）欠けています。本物の絵札は保管されていて、今は絵札の写真が拝殿に飾られています。平成14年（2002）に市の有形民俗文化財に指定されました。

5 3 平成22年（2010）の小牧山城発掘調査により、小牧山城の主郭部分から信長の家来の名を指す可能性の高い「〇〇〇」と墨で書かれた石垣の石材が見つかりました。何と書かれていたでしょう。
※主郭・・城の中で一番重要な建物が建てられることが多い、平らな場所。本丸とも呼ばれる。

平成22年（2010）の発掘調査により、主郭部分から織田信長の家来、佐久間信盛を指す可能性の高い「佐久間」と墨書された石垣の石材が出土しました。信長が家来を競争させて城づくりを進めたとも考えられています。現在、小牧市歴史館に展示されています。

5 4 野口の神明社の秋祭りで行われる「野口棒の手」には、百以上の技があります。この「野口棒の手」のもととなった源氏天流を始めた人はだれでしょう。

棒の手は、日本武術の形を踊りにした伝統芸能で愛知県近辺の名称です。「野口棒の手」は、流派を源氏天流といい、始めた人は八幡太郎（源義家）であるといわれています。明治35・6年（1902・3）頃、春日井市の関田から野口に伝わりました。もう一つ小牧で有名な「大草棒の手」のもととなった神影流を始めた人は、源義経だといわれています。

55 上街道（木曾街道）の小牧宿の下之町にある「岸田家」などには、防火の神様が屋根にまつられたところがあります。これを何というでしょう。

屋根神は、屋根の上にもつられたほこらで、愛知県や岐阜県などで見ることができます。防火や厄よけを願ったり、氏神などをまつたりしています。最近では建物の建て替えなどにより、地上に降ろされたところ、特設の台を屋根の高さに作ってまつてある場合も見られます。祭りの時は屋根神に提灯が飾り付けられるとともに、山車が町内をねり歩くとき、屋根神のところでとまってご祈祷するそうです。そのため山車の高さで屋根神の高さが合っているのだそうです。

56 岩崎山の熊野社にある大きな岩は、県の天然記念物に指定されています。この岩は何と呼ばれているでしょう。

岩崎山の熊野社の境内にある五枚岩は、厚さ70cm～2.5m、奥行きが10mもある大きな5枚の岩です。昭和35年（1960）に県の天然記念物に指定されました。

57 小木小学校近くの日吉神社の境内に、樹齢約500年と推定され、高さが30mほどもある市の天然記念物に指定されている木があります。この木は何でしょう。

日吉神社のクスノキは市内でも最大で、約10階建のビルの高さと同じになります。根元の周囲12.3mほどあり、西側には幹が割れてあながあいています。昭和53年（1978）市の天然記念物に指定されました。

58 藤島地区にある賢林寺の本尊は県の有形文化財に指定されています。その本尊は何でしょう。

賢林寺は、創建が建永元年（1206）と伝えられる天台宗の寺です。本尊である座高80cmほどの金箔がほどこされた木造十一面観音菩薩坐像は、秘仏であり、ふだんは見ることはできません。十一面観音像の座像は全国的にもあまり見られないものです。平安時代前期に作られたといわれています。

59 小牧神明社の秋葉祭では、4台の山車だしがねり歩きます。山車にはそれぞれ前面まえだなに前まへ棚人形という人形が置かれますが、4台のうち3台には悪い気をはらうさいふ采振り人形が置かれています。あとの1台には笛たいこと太鼓えんそうの演奏えんそうをするからくり人形が置かれています、この山車だしは何と呼ばれているでしょう。

ゆとりぐるま
湯取車は、からくりで湯取神事を主題だいしにしていることからこの名がつけました。からくりは、明治35年(1902)に六代目玉屋庄兵衛しょうべえ せいさくが製作したもので、笛吹ふきと太鼓打ちたいこ、巫女みこと神官の4体からなっています。これは湯取神事を主題だいしとしていて、笛吹ふきと太鼓打ちたいこがそれぞれの楽器を演奏えんそうします。他の三台の山車だしの「道行き」ぜんじの「善師野」はやし等のお囃子せんりつとは旋律の違うお囃子です。

60 福厳寺ふくごんじの北東約500mにある大草城おおくさじょうを建てたのは西尾道永にしおどうえいです。では、この大草城が建てられたのは、何時代のことでしょう。

おおくさじょう むろまち にしおどうえい ぶんあん
大草城は、室町時代の人物である西尾道永が文安元年(1444)に建てました。岩倉織田氏おだ あとつの跡継ぎ争いによって、西尾氏は大草から美濃みの ぎふけん(岐阜県)に移ったため、天文17年(1548)ごろ廢城てんぶん はいじょうになっています。現在でも、この地区では堀ほりや曲輪くるわの一部を見ることができます。

出題に関わる参考文献

『小牧市史』

『小牧の文化財』『小牧叢書』

『小牧市文化財図録』『小牧の文化財散歩』

『小牧の寺院』『小牧の神社』

『味岡之庄の歴史』『北里教育百年の歩み』

『小牧の文化財地図 訪ね歩きマップ 味岡地区、篠岡地区』

『社会科副読本 こまき』『社会科副読本 小牧』

『篠岡百話』

『北里仏教会・寺院のあゆみ』

『J A尾張中央 ふれあい』